

令和元年12月19日

会員各位

美しい多摩川フォーラム事務局

令和元年度 第2回 三部会合同部会

◆ 12月19日(木)、美しい多摩川フォーラムの令和元年 第2回 三部会合同部会が開催されました。概要は下記のとおりです。

- ・開催日時：令和元年12月19日(木) 15時～16時半
- ・開催場所：立川グランドホテル 3F サンマルコ
- ・出席者：会長、副会長、副部長、運営委員、アドバイザー、会員等

◎ 三部会合同部会の概要

1. 開会

2. 部会長挨拶

3. 講話 テーマ：「野川のイベント」

講師：東京都北多摩南部建設事務所 工事第二課
課長代理(維持担当) 守屋 勝信 様

4. 経過報告

- (1) 東急百貨店より第10回「ココエコチャリティー」の寄付金贈呈(10/8)【資料1】
- (2) 第11回たまりバーRUN&WALKに参加(10/12・荒天中止)
- (3) 多摩川“水”大学講座開催(10/18最終回)
- (4) 第12回多摩川一斉水質調査レポート発行(11/1)【資料2】
- (5) 多摩川流域自治体交流イベントラリーに協力(5/4～11/3)【資料3】
- (6) 第1回運営委員会開催(11/12)【資料4】
- (7) 第12回多摩川子ども環境シンポジウム開催(12/7)【資料5】 ※

※台風19号による多摩川流域の甚大な被害により中止した事業【資料6】

- ・第11回美しい多摩川クリーンキャンペーン開催(11/2 多摩市、11/9 川崎市)
- ・多摩川流域魅力体験事業！「多摩川カヌー駅伝大会2019&クイズウォークラリー」に協力(11/23)

～以下、当面の予定～

- (8) 大田区より第11回・寄付金の贈呈(12/23)
- (9) 「多摩川酒蔵街道」スタンプラリー&キーワード当選者発表(2年/1月)【資料7】

5. 意見交換

(1) 令和2年度事業計画骨子(事務方素案)の主な実施内容について【資料8】

(2) その他

6. 会長総括

7. 閉会

1. 開会(初参加者紹介および資料確認)

(事務局)

定刻になりましたので、美しい多摩川フォーラム令和元年度第2回三部会合同部会を始めさせて頂きたいと思えます。それでは「多摩川の歌」の普及策の一環として、皆様にもぜひ親しんでいただきたいということで、本日は、小野リサさんによるボサノヴァ・特別バージョンでお聞き下さい。……。

次に、本日初めて部会にご出席される方をご紹介します。

(藍澤証券株式会社福生コンサルティングプラザ長 及川 靖之 様)

及川と申します。よろしく願いいたします。私は先週、船橋から中神に引っ越ししてきました。多摩川がより近くなりましたので、よろしく願いいたします。

(三井住友海上火災保険株式会社東京西支店業務課長 中村 広義 様)

中村と申します。私は4月に現在の部署に着任し、部会には初めて参加します。多摩川フォーラムで得たものを会社の活動にも活かしていきたいですし、多摩川フォーラムに何かお手伝いさせていただきたいと思っておりますので、今後ともよろしく願いいたします。

(アルピン株式会社営業部課長 赤井 雅 様)

赤井と申します。会社は神田ですが、自宅は多摩川近くの多摩市です。今までも多摩川フォーラムのイベントに参加してきましたが、今後も色々関わらせていただきたいと思えますので、今後ともよろしく願いいたします。

(秋川流域ジオ 若松 昭秀 様)

若松と申します。名前は若いですが、身体は老い松になり、やることは“おそまつ”になりました。世田谷に住んでおります。地域の子どもたちに、科学クラブで指導をしています。月に1回程度、子どもたちに実験をさせて、科学の引き出しを多く持ってもらうと思っております。多摩川子ども環境シンポジウムにもぜひ参加させたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

(事務局)

有り難うございました。それでは会議の進行に移ります。その前に資料の確認ですが・・・(省略)。

本日は、副会長の平野教育文化部会長と渡邊部会長、藪田部会長が都合により欠席となりました。なお、本日の三部会合同部会には、細野会長にご出席いただいておりますので、部会の進行は細野会長にお願いしたいと存じます。それでは、細野会長に開会のご挨拶をよろしく申し上げます。

2. 会長挨拶

(細野会長)

皆さんこんにちは。教師も走る「師走」でございます。私も今日、電車を1本逃してヒヤヒヤしました。少し遅れて失礼いたしました。先日、多摩川子ども環境シンポジウムがありましたが、とても良かったです。これについては、後ほど報告があると思います。秋には台風が多摩川流域に甚大な被害をもたらしました。美しい多摩川が怖い多摩川になってしまいました。どうやったら災害に対して賢くなれるのか、我々多摩川フォーラムから発信するのも大事ではないかと思えます。今日も皆さんのご意見やアイデアをいただきたいと思えますので、よろしく願いいたします。それでは事務局に進行をお願いします。

3. 講話

(事務局)

今日は、「野川のイベント」というテーマで、講師には東京都北多摩南部建設事務所工事第二課課長代理（維持担当）の守屋勝信様をお迎えし、お話をいただきます。それではよろしく願いいたします。

(東京都北多摩南部建設事務所工事第二課課長代理（維持担当） 守屋 勝信 様)

守屋と申します。今日のテーマは「野川のイベント」ですが、距離が長いので、地区を区切って説明させていただきます。野川の自然再生事業に合意して実施している野川のイベントに限定させていただきます。

まず、野川がどこにあるかと言いますと、東京都のほぼ中央に位置する川です。国分寺市の日立製作所敷地内の大池を水源とし、下流に流れています。途中で入間川と仙川が合流し、世田谷区の二子玉川付近で多摩川に合流しています。流域面積は約70平方キロメートル、流路延長は約20キロメートルの一級河川です。自然再生事業を行う箇所は、小金井市にある都立武蔵野公園内において実施しております。

次に、自然再生事業の経緯をご説明します。平成15年1月に「自然再生推進法」が施行され、東京都では、野川のこの区域で自然再生事業を行うことといたしました。今現在でも、東京都で唯一の自然再生事業の実施地区です。平成17年3月に「自然再生協議会」を設置し、協議会での議論を経て、平成18年9月に「自然再生全体構想」を策定しました。その後、実際に事業化するため、平成18年10月に「自然再生事業 第一次実施計画書」を、平成24年11月に「自然再生事業 第二次実施計画書」を策定しました。

こちらが自然再生事業の対象地区になります。赤い点線で囲っていますが、二枚橋から小金井新橋までの900メートルと、第一調節池、第二調節池の部分です。黒い点線で囲った部分は関連地区になりまして、水の確保や自然環境の連続性の観点から周辺に関連地区を設定しました。実際にモノを作るのは赤の点線部分のみです。

次に、全体構想における理念・目標ですが、以下の3つがあります。

- 様々な水環境を生息の場とする生物の多様性を再生・整備する。
(田んぼだけ作るのではなく、ため池や水路、深池や湿地を作ったり、多様な水環境を作ることによって生物の多様性を図る。)
- 昭和30年代前半の、「水のある農の風景」を規範とし、当時の風景が持っていた「水を中心とした環境システム」を再生する。
(昭和30年前半は田んぼが広がっていた。その田んぼを軸として作り、水環境システムを再生する。)
- その環境システムを形成していた自然と人との関わりを現代的意義の中で再生・整備する。

せっかく田んぼや水環境システムを作っても、そのままにしておくと誰も興味を示さないので、東京都では、自然再生事業で作った施設を使って、3つのイベントをおこなっています。

イベント①

まず、第一田んぼと第二田んぼを使って、田植え・稲刈り・脱穀・収穫祭をおこないました。こちらは5月19日(日)におこなった田植えの写真です。大人だけではなく、子どもたちも参加し、スタッフも合わせて120名ほどの大人数で田植えをおこないました。参加した子どもたちは、田んぼのぬかるみに、はじめは恐る恐る入っ

ていく状態でしたが、インストラクターの指導のもと、最後のほうには泥んこ遊びのように楽しそうに田植えをしてくれました。

こちらは9月23日（月）におこなった稲刈りの写真です。保育園や幼稚園の園児たちも参加しました。大人と同じ鎌を使うので、はじめは怖がっていましたが、インストラクターの指導のもと、最後のほうには楽しそうに要領よく稲刈りをしてくれました。

こちらは9月28日（土）におこなった脱穀の写真です。これは昭和30年代頃に作られた脱穀の機械です。ドラムになっていて、沢山の突起物が付いています。これが踏板です。この踏板に乗ってドラムが回転します。回転しているドラムのところに稲を突っ込んで脱穀します。ドラムの先には針金等の突起物が付いていて高速で回るので、子どもたちは、はじめは怖がっていましたが、最後のほうには自分から「もっとやりたい！」と楽しそうに脱穀していました。

こちらは11月10日（日）におこなった収穫祭の写真です。自分たちで作ったお米を窯で炊き、おにぎりを作って食べました。窯で炊くのでおこげが出来ますが、今どきの子どもたちはおこげを知りません。食べたら「せんべいみたいで美味しい」と喜んでいました。こちらはスタッフが豚汁を作っている写真です。寒い時期だったので、子どもたちはおかわりをしていました。

イベント② 野川のちびっ子先生集まれ！～野川の通信簿

こちらは、毎年東京都でおこなっている、河川愛護月間行事のひとつになっているイベントです。今年は7月1日（月）に開催し、小金井市立南小学校の6年生を対象にした自然学習教室です。観察項目としては、水生生物、昆虫、植物、野川の水質の4項目です。6年生が90名、スタッフが30名ほど、計120名ほどの規模で毎年おこなっています。

こちらは昆虫採集グループの写真です。自然再生地区で獲った昆虫について、インストラクターに説明してもらっているところです。

こちらは、事業対象地区に生えている植物を模造紙に貼り、インストラクターから植物が外来種なのか外来種なのかという説明を受けているところです。

こちらは水質グループの写真です。CODの簡易キットを使い、全員に野川の水質測定をやってもらいました。CODの数値としては3mg/Lと、まあまあ良い数値で、それほど汚れていませんでした。

こちらの写真は小金井新橋になります。橋の下で水生生物を捕獲し、インストラクターに生物の特徴（外来種なのか外来種なのか）等を説明してもらっているところです。

イベント③ きみも昆虫博士になろう～野川の生きもの観察会

こちらでも東京都で実施している河川愛護月間行事のひとつで、8月11日（日）に開催されました。このイベントは先ほどと違い、自由参加のイベントです。参加者とスタッフ合わせて100名ほどで、毎年開催しています。参加者は網を持って、自然再生地区でバッタやチョウチョを捕まえて、インストラクターから、捕った昆虫について説明を受けました。最後にインストラクターから、参加者の名前が入った昆虫博士認定証をもらうことができます。

現在は、野川第一・第二調節池地区自然再生整備事業の整備を終え、昨年度、それぞれの施設を誰が管理していくのか等を定めた維持管理計画を策定しました。今後は、その維持管理計画に沿って、適切に維持管理をしていくこととなります。しかし、今後、参加者が多くなって田んぼが足りない等が出てきた場合は、第二調節池の空間を使う等の協議をおこない、第三次実施計画を策定し、それに基づいて整備をおこなっていきたいと考えております。以上で、「野川のイベント」についての説明を終わらせていただきます。ご静聴、有り難うございました。

(事務局)

有り難うございました。せっかくの機会ですので、ご質問のある方は挙手をお願いします。

(細野会長)

台風19号等、大雨の対策はどうなっているのでしょうか。

(守屋 様)

大雨が降った場合、ある一定の水位になったら、野川から第一調節池と第二調節池に流れ込むようになっていきます。台風19号の時には、第一調節池に約5,000立米ほどの水が流れ込みました。野川の水位が下がったら、池のフラップゲートが開き、野川にはき出します。

(富国生命保険（相）立川支社市場開発グループ課長 梶田 俊樹 様)

「きみも昆虫博士になろう」というイベントで、例えばどんな生物を捕獲できるのでしょうか。

(守屋 様)

ただの原っぱなので、トンボとチョウチョがメインで、カマキリも捕れます。水生生物に関しては、深さの違う池があるので、ホトケドジョウ等の珍しい魚も捕れます。

(中央大学学会東京大田区支部副支部長 藤井 政男 様)

台風19号では多摩川に沢山の水が流れましたが、多摩川支流の野川では、どのような防水対策を取っているのでしょうか。

(守屋 様)

既に第一調節池と第二調節池は完成しており、調布飛行場近くの大沢調節池は50,000立米ほどの水を貯める能力があるのですが、こちらは現在改修工事中で、完成すると3倍の約16,000立米ほどに拡大します。下流に負荷をかけることなく、中流域で水を取り込めるよう整備しています。しかしながら、台風19号ほどの水量が流れると、これだけでは足りないと思います。多摩川の水量が多くて野川の水がなかなか下流に流れ込まず、逆流する可能性はまだあります。

(事務局)

他に質問等がないようでしたら、守屋様に今一度拍手をお願いします。なお、講師の守屋様はご公務のため、このあとご退席されます。どうも有り難うございました。

4. 経過報告

(事務局)

それでは、経過報告に移ります。前回10月の三部会合同部会以降の当フォーラムの活動につきましては、お手元の資料の表紙に時系列でお示ししております。それでは、はじめに(7)番の活動をビデオにまとめておりますので、前方のスクリーンをご覧ください。

— ビデオ放映 —

経過報告を続けます。

(1) 東急百貨店より第10回「ココエコチャリティー」の寄付金贈呈(10/8)【資料1】

- ・ 【資料1】をご覧ください。今年も東急百貨店のココエコチャリティー・イベントによる売上金の一部97,411円が、当フォーラムに寄付金として贈呈されました。贈呈式には、細野会長に出席していただきました。なお、いただいた寄付金は、「多摩川一斉水質調査」などの多摩川環境保全活動に役立てていきます。

(3) 多摩川“水”大学講座開催(10/18 最終回)

- ・ 8年目となる今年度は、引き続き小倉副会長に講師をお願いし、府中市様との共催のもと開催しました。今年度の修了生10名を含め、修了生は延べ98人となり、各地で水環境のリーダーになることが期待されます。なお、来年度につきましては、昭島市で開催する方向で準備を進めております。

(4) 第12回多摩川一斉水質調査レポート発行 (11/1) 【資料2】

- ・ 【資料2】をご覧ください。例年どおり11月に発行しました。今年は、美しい多摩川フォーラムで52調査地点を実施し、他の調査団体の調査地点を加え、多摩川流域348地点での水質調査結果をレポートに纏めました。なお、水質調査の実施に際し、渡邊運営委員、山崎運営委員、奥山アドバイザーには、今年も全面的にご協力をいただき有り難うございました。本件につきまして、小倉副会長より一言お願いします。

(小倉副会長)

調査地点348地点のうち、きれいな地点は71%と、例年になく良好な水質となりました。全国での今年の参加人数は6,338人(744団体)で、16年間の調査地点総計は88,351地点となりました。2021年には100,000地点を達成する見込みです。それを記念してシンポジウムやフォーラム等を開催し、今までの取りまとめと今後の方向について検討したいと思っています。

(6) 第1回運営委員会開催 (11/12) 【資料4】

- ・ 【資料4】をご覧ください。第1号議案：多摩川子ども環境シンポジウム「みんなの発表誌」発行について(案)、第2号議案：「多摩の物語」(民話・昔話)の掘り起し調査と小冊子発行について(案)、以上2件が承認されました。

(7) 第12回多摩川子ども環境シンポジウム開催 (12/7) 【資料5】

- ・ 【資料5】をご覧ください。今年は6団体の発表がありました。当日は、細野会長を始め、平岡副会長、山崎運営委員、滝井運営委員、笹木アドバイザー、奥山アドバイザーにご協力いただき、大変有り難うございました。本件につきまして、当日、特別講話をしていただいた山崎運営委員に一言お願いします。

(ふれあい移動水族館館長 山崎 充哲 様)

12年続いているイベントですが、子どもたちの発表は非常に多岐にわたっています。多摩川を色々な面から見るようになってきました。生き物、植物、自然災害等、子どもたちの色々な視点が入っています。私も、台風19号を受けて、少し話をさせていただきました。シンポジウムの参加を通じて、いずれ子どもたちが大きくなったら、多摩川フォーラムに入会してくれるかもしれません。良い子を生む良い多摩川であってほしいと思いますが、イベントは大成功だったと思います。

※台風19号による多摩川流域の甚大な被害により中止した事業【資料6】

- 第11回美しい多摩川クリーンキャンペーン開催(11/2 多摩市、11/9 川崎市)
- 多摩川流域魅力体験事業!「多摩川カヌー駅伝大会2019&クイズウォークラリー」に協力(11/23)

- ・【資料6】をご覧ください。台風19号の影響により、各行政と協議のうえ、11月に予定していた事業の中止のお知らせを10月18日付でホームページに掲載のうえ関係各団体に連絡、11月に予定していた3つの事業につきまして開催中止と致しました。なお、多摩川カヌー駅伝大会は3年目であった今年度の中止を以って終了となります。青梅市をはじめとする6市の広域連携助成金事業に、多摩川フォーラムとして全面的に協力してまいりましたが、4年目より助成金が半分に減額されることで6市の連携が困難となりました。次に、「美しい多摩川フォーラム・御岳の森」の被害状況について、ご報告させていただきますので、前方のスクリーンをご覧ください。10月12日、台風19号により多摩川が増水し、炭焼き施設の大部分が流されました。この写真は、台風が来る前の「炭焼き窯」と「ログハウス」になります。そしてこの写真は、台風が来た翌日の写真になります。美しい多摩川フォーラム「御岳の森」の炭焼き窯、ログハウスは完全に流されてしまいました。なお、木柵および周辺には大量の漂着物が散乱しておりましたが、事務局で片付けましたので、現在はきれいになっております。周辺地域は、がけ崩れが発生、御岳小橋が流されるなど、回復にはまだまだ時間がかかりそうです。因みに、「御岳の森」がある奥多摩フィッシングセンターでは、11月30日より釣り堀等の営業が一部再開され、12月14日より一般エサ釣り場やルアー・フライ釣り場の営業を再開、漁場が整備され、ようやく全面再開に至ったところです。

～以下、当面の予定～

(8) 大田区より第11回・寄付金の贈呈(12/23)

- ・10月12日に予定していた第11回たまりバーRUN&WALKが荒天中止となりましたが、12月23日に大田区役所区長室において、松原区長より細野会長に第11回目となる寄付金が贈呈される予定です。なお、いただいた寄付金は、「多摩川夢の桜街道」事業に役立ててまいります。

(9) 「多摩川酒蔵街道」スタンプラリー&キーワード当選者発表(2年/1月)【資料7】

- ・【資料7】をご覧ください。9月より応募受付を始め、現在のところ87件の応募となっております。まもなく12月31日を以って応募の締め切りとなります。今回はかなりの確率で当選する可能性があります。皆さん、まだ間に合いますので、ぜひ応募してみてくださいはいかがでしょうか。事務局からの経過報告は以上です。細野会長、よろしくお願ひします。

(細野会長)

有り難うございました。事務局からの経過報告で、ご質問などございますか。ないようでしたら、意見交換に進めます。始めに、(1) 令和2年度事業計画骨子(事務方素案)の主な実施内容について事務局の方から説明してください。

5. 意見交換

(1) 令和2年度事業計画骨子(事務方素案)の主な実施内容について【資料8】

(事務局)

【資料8】をご覧ください。令和2年度の主な事業内容について纏めたものになります。既存事業を中心に計画しておりますが、教育文化⑥が新規事業になります。これは、令和3年度に小冊子を発行するため、「多摩の物語」(民話・昔話)の掘り起し調査を令和2年度に実施する計画です。また、先ほどご報告させていただきましたが、台風19号の被害で「炭焼き小屋」は増水によって完全に流されました。喫緊の課題として「炭焼き体験と水辺の交流会」をどう継続していくかという問題があります。教育文化軸の看板事業であるこのイベントは、何としても実施いたしたく、「御岳の森」の今後について、慎重に検討を進めており、運営委員会で具体的な提案ができればと考えております。また、多摩川カヌー駅伝大会に代わる新たな親水事業についても、来年度以降の検討課題かと考えております。なお、来年度の事業計画につきましては、1月22日の運営委員会において、事業計画の事務方素案を提出させていただく予定です。以上になります。細野会長、よろしく申し上げます。

(細野会長)

はい、有り難うございました。それでは、ご意見ご質問等ございましたら挙手をお願いします。

(ふれあい移動水族館館長 山崎 充哲 様)

ログハウスについては奥多摩漁協さんのバーベキューハウスをお借りしても良いと思いますが、炭焼き窯についてはプロに指南いただき、大掛かりな窯がなくても子どもたちが手作りできるようなものがあれば、そちらに変更しても良いのかなと思います。イベント自体は継続させたいと思います。

多摩川カヌー駅伝がなくなるということですが、八丈島の子どもたちが多摩川で釣りを経験した事業のように、何かのイベントと置き換えで実施してほしいと思います。予算がなければ何もできないということにはしたくありません。お金がなくても何らかの形で事業継続または置き換えで実施してほしいと思います。

(中央大学学会東京大田支部副支部長 藤井 政男 様)

今回の台風で、平均何メートルくらい増水したのでしょうか。

(ふれあい移動水族館館長 山崎 充哲 様)

場所によると思いますが、大田区と川崎市を結ぶガス橋の上に水がかぶりました。ガス橋は、土手と橋のけたに余り差がありません。あの場所で7mくらいです。一番水位の上った場所では8mくらいです。私が住んでいる多摩区では内水氾濫が起きました。逆流もあったようです。

(細野会長)

はい、有り難うございました。他にご意見ご質問等ありますか。それでは、折角の機会ですので、令和2年度事業計画について、皆さんにご意見等、一言ずつお願いします。それでは、時計回りで、お一人ずつどうぞ。

(大田区都市基盤整備部都市基盤管理課計画調整担当係長 藤村 智明 様)

ガス橋について、(橋の上まで水位が上がったという)そういう認識はなかったのですが、ギリギリだったということは聞いております。来年度以降の事業についてパッと思いつかないのですが、台風の影響で多摩川の緑地が浸水し、各自治体では復旧作業をおこなっております。復旧作業が終わり、子どもたちの遊べる環境が早く戻れば良いなと思っております。

(羽村市産業環境部産業振興課商工観光係長 増田 康一郎 様)

継続事業を中心に進めていければ良いのではないかと思います。

(中央大学学会東京大田支部副支部長 藤井 政男 様)

今年3月に閉館した青梅市の吉川英治記念館が来年9月に復活するそうです。せっかく再開するのですから、他のアーティストを同時展示する等工夫をして、吉川英治を知らない若い人たちも呼び込んでいただきたいと思います。近くには同じく復活中の梅もあります。高尾山には人が沢山来ているのに、御岳山には人が来ません。それぞれの観光スポットが離れているからだだと思います。吉川英治記念館をきっかけに、お金をかけずに多摩川流域の発展に寄与してもらいたいと思います。

((公財)東急財団事務局長環境部長 凶師 真吾 様)

私が当財団に着任した時、多摩川流域をこの目で見てみようと思い立ち、自宅の折り畳み自転車を活用して丹波山村から多摩川を下ってみました。日が暮れたら自転車を畳んで家に帰ることを8回繰り返し、つい先日、多摩川河口にたどり着きました。

多摩川をこの目で間近に見て、こんなに自然豊かな川が身近にあったのだと感銘を受けました。ぜひ来年度も多様な活動をして、多摩川の魅力を発信していただきたいと思います。先ほど羽村市さんもおっしゃっていましたように、継続事業も大切だと思います。継続することによって多くの人に知られることに繋がりますし、多摩川では何かしらイベントをやっている川だと認識してもらえれば、さらに親しんでもらえる川になるのではないかと思います。

(（特非）緑の大地会事務局 高野 源一 様)

炭焼き窯とログハウスが流された件について、建てた側として先日現場を見に行ってきましたが、写真の通りでした。幸い、植樹された桜は無事でしたので、地主さんの許可が得られればですが、観桜できるスペースを活用できればと思います。

(レストラン四川豆花飯荘顧問 永野 誠一 様)

私が心配しているのは、日野橋が崩壊したことです。来年春に復旧すると聞いておりますが、日野橋周辺のお店の客が少なくなっているそうです。ぜひ皆さんにも関心を持っていただきたいです。

(（特非）多摩川エコミュージアム副代表理事 五十嵐 豊 様)

私は炭焼き窯を再生させていただきたいと思っています。素晴らしいものでなくても、素人でも使える窯がありますので、子どもたちに体験してもらいながら再生してもらえると良いなと思います。

(スケッチ地盤工学者 野尻 明美 様)

特にございません。

(石川酒造㈱代表取締役社長 石川 彌八郎 様)

先ほどから台風に関連して橋の話題が出ています。多摩川に橋が何本かかっているのかわかりませんが、橋の歴史や勉強会を開いたらどうでしょうか。橋は文化や経済にも関わっています。昔は今ほど橋がありませんから、橋の向こう側とこちら側で話す方言が違ったという話があるほどです。橋の勉強会をすれば、多摩の歴史も学べるのではないかと思います。

(軸丸 幸彦 様)

私はFacebookでこの地域を紹介しています。カヌー大会は全国でやっていますが、カヌーの駅伝大会は余りやっていないので、Facebookで紹介すると、色々な質問を受け、かなり良い効果をもたらしていました。事情があって中止になったとは思いますが

が、なんとかカヌー駅伝大会を再開できるよう、努力していただきたいと思います。

(くにたち桜守 大谷 和彦 様)

私は国立に住んでいますが、国立駅の三角屋根の旧駅舎が来年4月に復元されます。ぜひ皆さんも、桜をきっかけに、多摩川の桜や国立の桜にも会いに来てください。

(秋川流域ジオ 若松 昭秀 様)

子どもたち向けのイベントとして、河口から水源までの多摩川ウォークはどうでしょうか。1回あたり10キロを目安にします。1年かければ歩けるだろうと思います。地区ごとに担当を決めて、地区の特長や昔の物語を話したら良いのではないかと思います。私鉄でもやっています。伊豆急は豪華で、一駅歩くとバッチをもらえます。15個揃えると額をもらえます。

(アルピン㈱営業部課長 赤井 雅 様)

弊社では、今回中止になった多摩川カヌー駅伝大会の運営を任されておりましたので残念に思います。今後も災害に繋がるような荒天も考えられますので、イベントは順延を念頭に置いて準備を進めたほうが良いのかなと思います。また、今後のために、災害に関する勉強会があっても良いのかなと思います。

(三井住友海上火災保険㈱東京西支店業務課長 中村 広義 様)

美しい多摩川クリーンキャンペーンは、会社の年間行事のひとつとして組み込んでいるので、今回中止になったのは非常に残念でした。先ほどから台風の話が沢山出ていますが、我々は台風被害を商売にしており、被害がないほうが穏便に暮らせます。災害に対する備えに関しては、色々とお手伝いできると思いますので、情報提供できるものがあれば考えてみたいと思います。

(藍澤證券㈱福生コンサルティングプラザ長 及川 靖之 様)

先日開催された多摩川子ども環境シンポジウムに参加しましたが、非常に感銘を受けました。今後も継続していただきたいと思います。

(東京海洋大学客員教授 奥山 文弥 様)

最近ユーチューバーとして多摩川をアップしていく中で、気付いたことがあります。多摩川に魚が放流されると人が集まるのですが、放流が終わると多摩川から人が居なくなります。では人が居ないと魚がいないのかということと違います。台風19号の後、羽村の河川敷に行ったら、放流された魚ではなく、カジカやドジョウ等の天然の魚しかいませんでした。多摩川の生産力の凄さを知りました。こういった多摩川の魅力を

発信するには、やはり釣りしかないのではないかと思います。大学では、「釣りは自然科学への第一歩である」と講義しておりますので、いつか釣りを取り入れていただければと思います。

(東京シティガイド 澤田 實 様)

私は郷土の民謡を復活させようとして取り組んでおります。「御岳杣歌」は作曲・古関裕而、作詞・川合玉堂で、仲を取り持ったのが吉川英治です。LPで歌っているのは赤坂小梅です。「御岳杣歌」を含む5曲をCD化しました。これらを語り会等で流してもらえると有り難いです。

(富国生命保険(相) 立川支社市場開発グループ課長 梶田 俊樹 様)

事業の継続と、御岳の森についての今後の最大課題だと思います。

(ふれあい移動水族館館長 山崎 充哲 様)

皆さんの話を聞いておりましたが、炭焼き窯を復活させたいというのであれば、色々な人の力を借りて、復活させるのもアリだと思います。奥山さんから釣りの話がありましたが、私もアリだと思います。もしやるのであれば、一緒に盛り上げたいと思います。多摩川フォーラムには各自治体や大企業、様々な団体がありますので、何か面白いなというものがあれば汲み上げていただき、色々なことをやっている団体と手を組んでいただければ、より広がりやすいのではないかと思います。

(東日本電信電話(株)東京西支店ビジネスイノベーション部

第一バリュークリエイティブグループ長 道下 勝志 様)

本業の話ですが、台風で弊社の施設も被害を受け、皆さんに大変ご迷惑をおかけしております。こういった被害がある度に増強しようという話が出ますが、尽きません。実は日野橋の下にも幹線のケーブルを入れております。対策は今後もどんどん進めていかなければならないと思っております。

多摩川子ども環境シンポジウムですが、例えば子どもたちが発表したことを、実証実験ではないですが、大人が実際にやってみる等すると、子どもたちも励みになるのではないかと思います。

((公財)東京都農林水産振興財団花粉対策室長

花粉の少ない森づくり運動担当課長 阿部 宏美 様)

今回の台風で、私どもが管理している御岳の森で崩落がありました。美しい多摩川フォーラム御岳の森でも一部崩落があったほか、隣の山の大木が倒れてしまいました。炭焼き小屋も流されてしまったということですが、先ほど山崎さんがおっしゃったように、お金のかからない方法で事業は継続していただきたいと思います。

(青梅市都市整備部計画保全課計画調整係長 輪千 徳也 様)

先ほど、吉川英治記念館をPRしていただき、有り難うございます。青梅市も台風で被害を受け復旧しているところですが、吉川英治記念館と多摩川をどう絡められるか、これから検討していきたいと思います。

流されてしまった炭焼き小屋について、前回の運営委員会では「復活してほしい」と申し上げましたが、長期的に考えてみると、今回のような災害がまた起こるかも恐れられないので、違う形で残していただきたいと、今は考えております。

多摩川カヌー駅伝大会がなくなってしまって私も残念に思います。来年は東京オリパラがあるので、何か関連付けたイベントを事業として盛り込んでいけたら良いと思っています。青梅では昔、いかだを下流まで流していました。堰があるのでとぎれとぎれにはなってしまいましたが、オリパラに絡めてできたら良いなと思います。

(公財) 東京市町村自治調査会総務部総務課長 空閑 浩一 様)

我々は行政の課題について研究している機関です。先ほど橋の話が出ましたが、今回被害を受けた橋は老朽化が原因だと思われ、行政の課題でもあると思います。各自治体は財政難の中、直したくても莫大な費用がかかって直すことができないまま、台風の被害にあったのではないかと思います。

1点質問です。多摩川フォーラムの新規事業の中で、「多摩の物語」の掘り起こしとありますが、多摩全体の民話なのでしょうか？

(事務局)

多摩川流域を対象にしています。基本的には1冊目と2冊目以外のエリアを対象に計画しています。

(2) その他

(細野会長)

本日は石川酒造株式会社代表取締役の石川彌八郎様、澤田アドバイザー、多摩川エコミュージアム副代表理事の五十嵐豊様、スケッチ地盤工学者の野尻明美様より情報提供があります。それではよろしく申し上げます。

(石川酒造株式会社代表取締役 石川 彌八郎 様)

事前にお配りした「子持ち鮎」についての紙をご覧ください。当家の古文書に多摩川のことを書いてあり調べてみたら、当時の将軍に多摩川の子持ち鮎を提供していたとのことでした。しかしこの役目は大変な負担だったようで、不漁の際には、上流は沢井村、下流は石田村（現在の日野市）までの三十ヵ村の協力を得て鮎を確保しなければならなかったそうです。以上、多摩川の子持ち鮎の歴史についてご紹介しました。

(澤田アドバイザー)

「タケノコをなら漬けにしようプロジェクト」という紙をご覧ください。青梅・奥多摩で増加する、手入れしなくなった竹林問題と、そのタケノコを狙うイノシシやシカをけん制しようと、3年前から始めたプロジェクトです。最近、青梅市成木で殺人事件がありました。竹林はあの現場のすぐそばにあります。成木の土地は石灰でできており、タケノコが美味しく育ちます。私と漬物屋の社長でタケノコを掘りました。現在商品化され、小澤酒造さんで販売しております。酒のつまみにピッタリです。原材料はタケノコ・酒粕・三温糖・塩の4つしかありません。売れば多摩川フォーラムに寄付できるのではないのでしょうか。来年、炭焼きがダメになったらタケノコ掘りを計画していただければ有り難いと思います。

次に「天空芸者ナイト」のチラシをご覧ください。私がコーディネーターを務めています。今年は11月で終わりましたが、来年もやります。インターネット申し込みです。1,000円でお酒も飲めますので、よろしくお願ひします。

(多摩川エコミュージアム副代表理事 五十嵐 豊 様)

我々の活動を掲載した「エコ・たまがわ」をご覧ください。台風19号の後の11月2日に、和光小学校の子どもたちとおこなった清掃活動の記事や、台風19号に耐えたヤナギの記事、また表紙には、首都ジャカルタを流れるチリウン川との交流事業に関する記事も掲載していますので、よろしければ後ほどお読みください。

(スケッチ地盤工学者 野尻 明美 様)

「大水害の次は大震災に備えよう」というハガキをご覧ください。日野団塊世代広場からの要請で、2時間講師を務めます。地震のメカニズムの誤解や地震後に発生する火災について話をします。これからは、備えるよりも正しい知識を身に付けることが一番の防災です。詳しくはレジュメに書いてありますので、行政や学会、企業の方のご参加もお待ちしております。

6. 総括

(細野会長)

最後に、小倉副会長に一言お願ひします。

(小倉副会長)

色々な方のお話を大変興味深く拝聴いたしました。もっと、ゆっくりお話を聞く機会があれば良いなと思いました。

(細野会長)

最後に、小倉副会長に一言お願いします。

7. 閉会

(事務局)

今年最後の三部会合同部会でしたが、貴重なご意見をいただき、有り難うございました。お金に関しては安全面の確保等、削ることができない部分はありますが、極力知恵を絞って、工夫して計画していきたいと思います。また、マンパワーの問題もございますので、事務局内で検討して、実現可能な案件から運営委員会に議案として上程していきたいと思いますので、よろしくお願ひいたします。

一年間、どうも有り難うございました。なお、この後、懇親会を予定しておりますので、行かれる方は、居酒屋「玉河」にご移動をお願いします。

以 上